

# 手をつなぐ親たち

第38号

平成25年9月30日



絵題字 柏倉 治忠 さくらんぼ共生園  
ワークランドベにぼな 山野井 整

一般社団法人  
山形県手をつなぐ育成会

編集・発行 〒990-0021 山形市小川町二丁目3-31 山形県総合社会福祉センター内  
TEL (023) 623-6572 FAX (023) 623-6571 E-mail: y-ikuseikai@coda.ocn.ne.jp 発行責任者 田中 俊 久  
ホームページ <http://yamagata-ikuseikai.net/> ブログ URL <http://blog.goo.ne.jp/y-ikuseikai>



選手宣誓 左から 県障がい福祉課課長、伊藤輝正さん  
(ハーモニー)、林里奈さん (天童ひまわり園)

「さくらはうす」(新庄市)の2団体に贈られた。連続しての受賞となった。年に一度の大会である。貴重な交流の場として、多くの人が毎回楽しみにしている大会である。100人もボランティアの支援もあり、けがや事故もない楽しい大会にすることができた。

平成25年度山形県知的障がい者レクリエーション大会が9月25日(水)、山形県総合運動公園サブグラウンドで開催された。好天に恵まれ、県内各地より40団体、1200人が参加した。徒競走、風船割り、パン食い競争、綱引き、リレーと何種目にも参加する人もいて、元気いっ

ぱいに運動することができた。広々としたグラウンドで、すがすがしい汗をかいて、力の限り運動した。また、同じ仲間に対し、大声援をおくった。その声援にこたえようとがんばって走る姿が印象深かった。応援合戦も事業所ごと工夫を凝らして行われた。そのいのはつび姿で一丸となつての応援する事業所もあった。日頃から応援練習にも熱を入れてきたに違いない。応援優秀賞は「いちょうの家」(南陽市)。

力いっぱい走った! 声をかぎりに応援  
知的障がい者レクリエーション大会

# 「地域活性化事業」県内5会場で開催

「学校選び・障害基礎年金・卒業後のあり方・  
家族のあり方」切実な話し合いを展開

長井市・山形市・東根市・新庄市・鶴岡市

本育成会では学齢児をもつ保護者の入会が少ないといった現状がある。その解決に向けて、本年度、「地域活性化事業」に取り組んでいる。できるだけ若年保護者にとって関心の高いテーマにより、研修の場を設定している。

今年度、県内5か所6回の研修会を予定している。9月末現在4回の研修会を実施した。長井市22人、山形市28人、東根市17人、鶴岡市25人の参加があった。テーマに即した講師を迎え、活発な意見交換を行うことができた。

新しい百歳共同基金地域福祉・住宅福祉事業

## ひと学校地域輝け未来

一般社団法人山形県手をつなぐ育成会  
|地|域|活|性|化|事|業|

障がいのある子がいたら  
自分の夢は持つちゃダメ?  
私の人生と子どもの人生

開催:鶴岡市  
日時:9月6日(金)  
場所:鶴岡市にこっふる

障害者年金の  
申請ってむずかしいの?  
その時になってあわてないた  
めに今から知って  
おくべきこと  
学校じゃ教えてくれませんか!

開催:山形市  
日時:6月28日(金)  
場所:山形市総合福祉センター  
開催:新庄市  
日時:11月8日(金)  
場所:新庄市ゆめりあ

どこの学校に通わせよう...  
地元?の学校?特別支援学校?  
分校もできるよね

開催:長井市  
日時:6月5日(水)  
場所:長井市民文化会館

卒業した先輩の  
話をきいて  
進路の参考にしたい!

開催:東根市  
日時:7月12日(金)  
場所:東根市タクトクルセンター

グループホームと  
ケアホームの違いってなに?  
お金はどれくらいかかるの?

開催:山形市  
日時:12月4日(水)  
場所:山形市総合福祉センター

◆手をつなぐ育成会は、知的しょうがいのある本人を支える家族と支援者の会です。  
参加費は無料です。どこの研修会にも複数参加できます。  
詳しい案内と申込書はホームページからダウンロードできます。(変更の確認もできます)  
申込はFAX・メールにて申し込んでください。  
一般社団法人山形県手をつなぐ育成会  
山形市小島町2丁目3番31号 Tel:023-623-6572 FAX:023-623-6571  
山形県総合社会福祉センター内  
HP: <http://yamagata-kuseikai.net/> Mail: [y.kuseikai@data.con.ne.jp](mailto:y.kuseikai@data.con.ne.jp)



第1回研修会「学校選びのポイント」長井市市民文化会館で

## 長井市に特別支援 学校の分校ができる

第1回目は、6月5日長井市市民文化会館において、学校選びのポイントについて研修した。来年度、長井市に米沢養護学校の分校が開校する。その分校の準備状況、就学相談の手順、相談事例等について、香澤聖原教委指導主事、吉田由起子米養特別支援教育コーディネーターの二人より講話をしていただいた。そして、参加者より、今後の分校のあ

講師は、二関郁子サポートセンターのゆあーず所長。  
今までの相談事例から、きめ細かな手続きを教えることができた。



第2回研修会「障害者基礎年金」山形市総合福祉センターで

障害者基礎年金申請のために早めの準備を  
第2回目は、6月28日山形市総合福祉センターで、障害者基礎年金について研修した。

り方について不安等が出され、積極的な意見交換を時間いっぱい行った。

これから、年金申請をする人にとって、大変意義のある話を聴くことができた。精神科医に早くから通院しておく、年金申請用の診断書も準備しやすいとのことであった。

### 参加者の声

年金の手続きで苦労した方の話や、二関所長の話を聞いて、精神科への通院などを早めにした方が良い事を知りました。また、実際の申請書を見て、親が書く欄も結構多いと思いました。とても有意義な研修会でした。(山口由美子 天童市育成会)

## ■村山市に「特別支援学校」卒業後の受け皿ができた

第3回目は、7月12日東根市タントクルセンターで、ざつくばらんに座談会と称して、卒業後の進路について、意見交換を行った。はじめに、安藤善宏村山市社会福祉協議会事務局長より、情報提供をもらった。今年度立ち上げた多機能型事業所「わっしょい」の現状についてである。

この事業所は楯岡特別支援学校の卒業生の受け皿となることが今後



第3回目研修会「卒業後の進路」東根市タントクルセンターで

期待されている。

地域の特性として、保護者同士のつながりの弱さなども話題にのぼった。また、事業所がもっとあればといったことも意見としてあった。

### 参加者の声

高等部三年の子をもつ親として、とても興味がありました。進路決定には、我が子をしっかりと把握することが大切だと感じました。また、保護者同士のつながりや、正確な情報を得ることも大事だと思いました。

(菅野裕子 天童市育成会)

## ■障がい者と家族の権利擁護について

第4回目は、9月6日鶴岡市にこふるで、吉川かおり明星大学教授の講演だった。障がい児者と家族の権利擁護にかかる研修会であった。

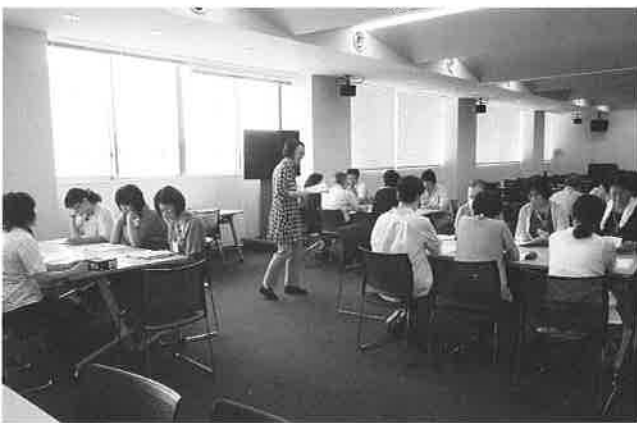
はじめに、吉川先生より、私の人生と子どもの人生、暮らしの幸せの作り方という話を聞いた。それをふまえて、家族のあり方についてワークショップを行った。自分の立ち位置などについて反省することしきりであった。今後の生活を見直す

きっかけとして貴重な研修となった。いかに肯定的な見方・考え方が重要かを体験することができた。とても、実践的な研修であった。

### 参加者の声

今まで育成会の研修会に誘われても断っていました。でも、今回の研修内容に興味ひかれて思い切って来てみたところ、大変充実した内容でした。もっと早くから参加していればと思いました。

(学齢期の子をもつ保護者 鶴岡市育成会)



第4回研修会「障がい者と家族の権利擁護」鶴岡市にこふるで



自分の障がいを知る・可能性を見る

## 「みんなで見える見るプログラム」

### 「本人活動」ファシリテーター養成講座を3回開催

知的障がい者本人活動は、今まで各地域、各事業所等で独自に行われてきた。自治会や本人の会を通じて、お楽しみ会中心の内容が大半であった。

今回、山形県知的障害者福祉協会が主催した知的障害者者本人活動リーダー養成事業に、本育成会も共催させてもらうことになった。

本講座は、本県の本人活動の中心になって活躍できる人を育てることをねらいとしている。また、各地域において本人活動を根付かせ、継続的に活動ができるようにする。そのことで、地域社会に積極的に参加する本人たちを養成するものである。さらに、地域の構成員として対等な地位を築ける力をつけよう。

そこで、全日本手をつなぐ育成会で開発した、みんなで見える見るプロ



「可能性を見る  
見える見るプログラム」ファシリテーター養成講座

みんなで見え合いになろう 相手のことを紹介中

グラムファシリテーター養成講座を開催した。講師は、吉川かおり明星大学教授、奈良崎真弓本人の会サンフラワー会員、羽村龍開発委員の3人をお迎えした。講師3人は、本

プログラム開発中心メンバーである。

本年度は、3回にわたる養成講座を行った。第1回目が6月30日、第2回目が8月18日、第3回目が9月29日に開催した。霞城公民館及び山形市総合福祉センターを会場にして行われた。

内容は本人たちの興味関心を引き、身近なものでバラエティに富んだものであった。

例えば、みんなと知り合いになろうというプログラムでは、相手のことをみんなに紹介する活動である。二人一組になって相手のことを聞き、相手の名前や好きなことをみんなに紹介する。相手になりきるところがなかなか難しい活動である。他にも、本人たちがゲームしたり、クイズに答えたりして、楽しく学ぼうになっているプログラムである。こうした活動を通じて、自分のこれ

からの夢や可能性を見つけ、さらに、自分の障害について考えることができるようになっていく。

実際、みんなで見え合い話し合い、自分の良いところをたくさん見つけることができた。また、自分の苦手なところをどうやって補うかを考え自分を好きになるきっかけをつくることにもつながった。県内全域から、30人の本人たちが集まり、回を重ねるごとに、緊張感も和らぎ発言するようになった。えっと思う、びっくりするような答えを言う人もいた。講師のリードで、活発なやりとりができ、答えにつまってもゆっくり待ってもらった。うまく展開し始めると、次々とテンポ良く活動を続けることができた。支援者にとっても、うかうかしてられない貴重な研修となった。今後、地域や各事業所での本人活動をこのツールを活用していかに組織化してゆくかが課題となる。



# 平成24年度会計収支報告

## 第3期 一般社団法人山形県手をつなぐ育成会収支計算書

平成24年4月1日より平成25年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	実 績	差 異	摘 要
I 収入の部				
1. 会費収入	2,740,000	2,596,000	144,000	
正会員会費収入	2,740,000	2,556,000	184,000	個人会員 1068名 / 団体 420,000円
賛助会員会費収入	0	40,000	△ 40,000	3団体 4口
2. 事業収入	815,000	649,400	165,600	
福祉大会	570,000	426,000	144,000	本人 600 × 130名 一般 1200 × 290名
レク大会	200,000	180,000	20,000	保険等 200 × 900名
相談員研修	30,000	22,000	8,000	資料代 500 × 44名
参加費収入	15,000	21,400	△ 6,400	元気が出るセミナー資料代
3. 補助金収入	2,557,000	2,652,375	△ 95,375	
ぜんち共済	240,000	240,000	0	会報・封筒等広告料ほか
地方助成金	200,000	200,000	0	北村山市町村・地区育成会
サポート協会	140,000	140,000	0	障害者サポート協会より
相談員研修	117,000	117,000	0	相談員研修委託費
その他の助成金	60,000	60,000	0	会報広告代 J I C 保険
レク大会助成金	1,800,000	1,800,000	0	障害者スポーツ協会より
受取国庫補助金	0	95,375	△ 95,375	元気が出るセミナー助成金
4. 負担金収入	840,000	852,540	△ 12,540	
文書管理負担金	720,000	720,000	0	120,000 × 6 施設
機関紙配布配分金収入	120,000	132,540	△ 12,540	手をつなぐ配布助成金
5. 寄付金収入	100,000	175,000	△ 75,000	
福祉大会寄付金	100,000	175,000	△ 75,000	福祉大会広告料
6. 雑収入	73,000	123,585	△ 50,585	
受取利息	3,000	3,985	△ 985	預金利息
雑収入	70,000	119,600	△ 49,600	事業所協議会・県特 P 謝金・機関紙原稿料
当期収入合計	7,125,000	7,048,900	76,100	
前期繰越収支差額	20,390,045	20,390,045	0	
収入合計	27,515,045	27,438,945	76,100	
II 支出の部				
1. 事業費	8,125,000	7,399,060	725,940	
給料手当	2,700,000	2,628,675	71,325	事務局 3名給与
職員諸手当	513,000	451,040	61,960	賞与・通勤手当
臨時雇賃金	10,000	10,000	0	知レク大会看護師報酬
福利厚生費	40,000	41,686	△ 1,686	労働保険料
旅費交通費	420,000	452,685	△ 32,685	理事会・研修会ほか交通費
研修費	65,000	103,800	△ 38,800	東北 B 大会・全国大会参加費理事長
通信運搬費	330,000	340,045	△ 10,045	郵送料・電話料ほか
消耗什器備品費	100,000	0	100,000	
消耗品費	550,000	406,736	143,264	事務用品・知レク参加メダル他
印刷製本費	400,000	268,338	131,662	大会冊子代・封筒・コピー・カンパ料
会議費	115,000	89,946	25,054	理事会等打合せ会議費
賃借料	900,000	914,105	△ 14,105	事務所家賃 48万 20万 PC A13万
広報費	200,000	222,600	△ 22,600	会報印刷代ほか
保険料	80,000	74,601	5,399	知レク大会傷害保険
手数料	120,000	85,862	34,138	振込手数料・決算税務資料作成料
諸謝金	100,000	70,000	30,000	大会謝礼金・セミナー講師謝礼
支払負担金	450,000	352,250	97,750	全日本・東北 B・関係団体会費
支払助成金	120,000	120,000	0	地区レク教室助成金
委託費	140,000	112,365	27,635	知レク大会業務委託・ビブス洗濯
寄付金	0	0	0	災害対策活動寄付金
雑費	600,000	571,626	28,374	福祉大会 31万 知レク 9万 PC 復旧作業
租税公課	0	10,700	△ 10,700	登記印紙代
法人税及び住民税事業税	72,000	72,000	0	県 22,000 山形市 50,000
予備費	100,000	0	100,000	
当期支出合計	8,125,000	7,399,060	725,940	
当期収支差額	△ 1,000,000	△ 350,160	△ 649,840	
次期繰越収支差額	19,390,045	20,039,885	△ 649,840	

# 平成25年度会計収支予算案

## 第4期 一般社団法人山形県手をつなぐ育成会予算書

平成25年4月1日より平成26年3月31日まで

(単位：円)

科 目	前年度予算	本年度予算	増 減	摘 要
I 収入の部				
1. 会費収入	2,740,000	3,550,000	810,000	
正会員会費収入	2,740,000	3,340,000	600,000	個人会員 2000 × 1430 名 / 団体会員 480,000
賛助会員会費収入	0	210,000	210,000	21 団体
2. 事業収入	815,000	725,000	△ 90,000	
福祉大会	570,000	510,000	△ 60,000	本人 600 × 150 名 一般 1200 × 350 名
知レク大会	200,000	200,000	0	保険料等 200 × 1000 名
相談員研修	30,000	△ 30,000		
支部会長研修費	15,000	15,000	0	資料代 500 × 30 名
3. 補助金収入	2,557,000	2,807,000	250,000	
ぜんち共済	240,000	240,000	0	会報・封筒等広告料ほか
地方助成金	200,000	150,000	△ 50,000	西村山市町村より
サポート協会	140,000	140,000	0	障害者サポート協会より
相談員研修	117,000	117,000	0	相談員研修委託費
その他の助成金	60,000	360,000	300,000	JIC 広告料・共同募金会より事業費
レク大会助成金	1,800,000	1,800,000	0	障害者スポーツ協会より
4. 負担金収入	840,000	840,000	0	
文書管理負担金	720,000	720,000	0	120,000 × 6 施設
地域助成金	120,000	120,000	0	手をつなぐ配布助成金
5. 寄付金収入	100,000	150,000	50,000	
福祉大会寄付金	100,000	150,000	50,000	福祉大会広告料
6. 雑収入	73,000	73,000	0	
受取利息	3,000	3,000	0	預金利息
雑収入	70,000	70,000	0	地域事業所協議会より
7. 基本財産収入	1,000,000	0	△ 1,000,000	
繰越金より運営資金	1,000,000	0	△ 1,000,000	
経常収入	8,125,000	8,145,000		
II 支出の部				
1. 事業費	8,125,000	8,145,000	20,000	
給料手当	2,700,000	2,700,000	0	黒木 125 万八銀 50 万占澤 95 万 給料
職員諸手当	513,000	470,000	△ 43,000	賞与・通勤手当
臨時雇賃金	10,000	10,000	0	知レク大会看護師報酬
福利厚生費	40,000	40,000	0	労働保険料
旅費交通費	420,000	500,000	80,000	理事会・相談員研修会・共募事業
研修費	65,000	110,000	45,000	研修会費
通信運搬費	330,000	350,000	20,000	郵送料・電話料ほか
消耗什器備品費	100,000	100,000	0	
消耗品費	550,000	550,000	0	事務用品・知レク参加メダル他 20 万
印刷製本費	400,000	400,000	0	大会冊子印刷・コピーセンター代
会議費	115,000	90,000	△ 25,000	理事会等打合せ会議費
賃借料	900,000	1,000,000	100,000	家賃 48 万 PC-機 20 万 PCA13 万 PC10 万
広報費	200,000	200,000	0	会報印刷代ほか
保険料	80,000	80,000	0	知レク大会傷害保険
手数料	120,000	100,000	△ 20,000	振込手数料・決算税務資料作成
諸謝金	100,000	100,000	0	大会謝礼金ほか
支払負担金	450,000	400,000	△ 50,000	全日本 26 万・東北 B 12 万・関係団体会費
支払助成金	120,000	120,000	0	地区レク教室 30,000 × 4 地区
委託費	140,000	123,000	△ 17,000	ビブスクリーニング・発送業務
雑費	600,000	530,000	△ 70,000	福祉大会 30 万・知レク弁当お茶 10 万 他
租税公課	72,000	72,000	0	法人税 県 22,000 山形市 50,000
予備費	100,000	100,000	0	
支出合計	8,125,000	8,145,000	20,000	
収支差額	0	0		
経常支出計	8,125,000	8,145,000		

# 課題解決の方向をあきらかにする

第3回5月29日、第4回7月17日開催



育成会の活動をいかに推進していくか、今後のあり方について検討している

構成している。

構成メンバーは次のとおり。

佐々木良子氏 〓 県育成会副理事長、  
吉池道夫氏 〓 県育成会理事、横山嘉彦氏 〓 庄内育成会事務局長、塩野千晴氏 〓 川西町育成会事務局長、山口由美子氏 〓 天童市育成会会員、鈴木貴史氏 〓 県立村山特別支援学校進路指導主事、佐藤恵美子氏 〓 はとぼっぼ倶楽部所長、黒木 仁氏 〓 県育成会事務局長、古澤 薫氏 〓 県育成会事務局員、八鍬三郎氏 〓 県育成会事務局員

昨年度、2回にわたって組織活性化委員会を開催した。  
今年度も昨年度に引き続いて、組織活性化委員会を行った。第3回目を5月29日、第4回目を7月17日に開催した。

今年度は新たにお二人の委員を加え、事務局を入れて10名で委員会を

るか。本委員会では具体案を出すべく検討している。

新会員を増やすには、学齢期の保護者に積極的に働きかける必要がある。それには、特別支援学校との連携を図ってゆく。学校に対する働きかけが今まで不十分であった。さらに、育成会の理解を図っていく手立てがなければならぬ。

現在、会員の中には学齢期保護者もいるので、その人たちを中心に学校における育成会に関する情報を伝えてもらう。

また、育成会を紹介する新パンフをツールに使用して、育成会が今まで実現してきた制度等がたくさんあることを理解してもらう。困ったことがあれば、同じ境遇の仲間が相談に乗ってくれることの意義を伝えてゆくことも重要となる。それがすぐく役立つことを体験談として語る。

また、今の福祉制度や福祉サービスにはどんなものがあるか、どんな使い方をするといいか、経験したことが身近な人から教えてもらうことができる。

身近な問題を解決してくれる研修会を自分たちで企画することもできる。

また、行政の人と直接話す機会もある。

知的障害児者・自閉症児者のための病気やケガの総合補償制度

## 生活サポート総合補償制度

※お申し込み・お問い合わせは・・・



A I U 保険会社代理店 (株) ジエイアイシー 南東北営業所

〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町1-2-1 ライオンビル4F

TEL: 022-265-0010 FAX: 022-264-0081

E-Mail: info@jicsendai.co.jp ホームページ: http://www.jicgroup.co.jp

新しい大切な情報が素早く、手に入るができる。  
子供達も同じ仲間と交流できる機会が多くなる。

こうした働きかけをどう組織化するかが課題である。  
今後、具体的な取り組みを発信し、てゆく。

## 第53回手をつなぐ育成会東北ブロック大会

秋田市で開催 9月28日～29日



サンワーク六郷合唱団の堂々たる合唱

9月28日の第1日目は、式典・アトラクション・講演等があった。

式典では、手をつなぐ育成会東北ブロック大会会長表彰者として県内から、南陽市の石川信美（社会福祉法人陽光会理事長）氏が授賞された。長年にわたる地域の福祉功労が認められた。

秋田市で行われた東北ブロック大会では、700人超の人たちが東北各県より参加し、山形県からは40人余が参加した。

また、アトラクションでは、障がい者の合唱団として県内各地で活動しているサンワーク六郷合唱団が、日ごろの成果を堂々と発表した。

大いなる秋田という曲を大きな会場狭しと高らかに歌い上げた。歌い終わると同時に大拍手喝采だった。

9月29日の第2日目は、分科会。

育成大会第3分科会では、話題提供者として佐々木良子（山形県手をつなぐ育成会副理事長）氏が、高齢化に向けた生活支援のテーマで発表した。分科会として140人もが集まった一番関心を呼んだ分科会だった。育成会にとつて取り組むべき大きな課題である。

また、第4分科会は、佐々木秀雄（山形県手をつなぐ育成会理事）氏が助言者として自らの実践を踏まえたアドバイスは説得力あるものだった。社会福祉士として、成年後見

人として、グループホーム設置者として、人権擁護の地域推進者として、裏付けのある行動力は迫力ある助言であった。

本人大会第5分科会には、県内から各駅停車の会（山形市）、ひまわり会（川西町）の代表が参加した。これまでの自分たちの活動について発表してきた。

東北各県の人たちの積極的な活動に多くのことを学んだ。今後も東北各県の人たちと交流する機会をつくっていききたい。

### 編集後記

◆地域活性化事業で育成会について話をすると、その場で入会したり、月刊手をつなぐの購読を申し込んだりの反応があります。

◆一人、二人の反応であってもその場で動くことを実感できるのはとてもうれしい。

◆地域活性化事業は、あと二回あります。11月8日新庄市、12月4日山形市で開催します。会員の声は声かけて多くの人たちの参加にご協力ください。

◆編集委員「押切イツ子・澁谷博夫・菅野裕子 事務局 黒木仁・古澤薫・八鍬三郎」

病気・ケガの入院 個人賠償補償 被害事故の解決

障がいのあるご本人と、そのご家族・施設従事者のための総合保険です。

ぜんちの  
**あんしん保険**

平成25年料率改定

少額短期健康保険（組合制）2012年制取

※この広告は商品の概要を説明しております。ご契約の際は必ず「あんしん」の「ご契約書」をご覧ください。

保障内容(A-1プランの場合 年間保険料17,000円)

死亡保険金	10万円	法律相談費用	5万円
特定重度障害保険金	10万円	弁護士委任費用	100万円
入院保険金	1日につき 8,000円	接見費用	1万円
入院一時金	10,000円	個人賠償責任保険金	1,000万円
傷害通院保険金	1日につき 1,000円		

詳しい資料のご用命は、下記代理店へお願いいたします。

〇取扱代理店

株式会社エフシーバンク TEL 022-348-4481  
〒981-3213 宮城県仙台市泉区南中山3-11-18

〇引受保険会社

ぜんち共済株式会社  
〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-5-8  
岩本町シティプラザビル 5F